

2月14日

## 『電気部門の変革2022』について」解明申入れ！

地本は、これまで工務職場全体会議などを通じて組合員の声を集約し、どのように『電気部門の変革2022』に臨むべきか議論してきました。組合員からは「職場での説明が不十分で不明な点や不安な点が多々ある」との意見をもとに、解明交渉をまずは求めて、会社の考えを引き出した後に基本交渉で施策に対峙していくことを確認してきました。共通8項目、新幹線5項目、在来線4項目について今後議論していきます！

### 【共通】

1. 今施策の導入目的と根拠を具体的にし、「変革2027」における電気部門の将来像を明らかにすること。
2. メンテナンス体制の再構築及びメンテナンス体制の改善の成果と課題を明らかにすること。
3. メンテナンス体制の再構築及びメンテナンス体制の改善など地方交渉で労使合意してきた議事録確認について、体制がどのように変わるのか明らかにすること。
4. 新たな新幹線体制の確立にあたり、在来線と新幹線の社員希望についてどのように把握するか明らかにすること。
5. 二重安全措置など具体的に問題が出されている安全ルールについて、今施策における具体的な安全性向上策を明らかにすること。
6. 今施策の技術センターにおける業務の簡素化で、標準数を削減できる根拠を明らかにすること。
7. 今施策の技術センターにおける業務の簡素化で、これまで実施してきた工事制度の成果と課題を明らかにし、工事制度の変更点についての教育スケジュール及び教育内容を明らかにすること。
8. 「設備のシステムチェンジ」「スマートメンテナンス」「工事の機械化・効率化」の順次メニュー実施について具体的スケジュール及び内容を明らかにすること。

### 【新幹線電気部門】

9. 新幹線体制の確立についてどのように変わるのか明らかにすること。
10. 各技術センターにおいて系統間教育のスケジュール及び教育内容、必要な資格について明らかにすること。
11. 新幹線体制の確立で、業務内容や財産管理、各種設備管理システムの変更内容・スケジュール・運用について明らかにすること。
12. 新幹線体制の確立で、事務体制がどのように変わるのか明らかにすること。
13. 施設系統との調整業務についてどのように変わるのか明らかにすること。

### 【在来線】

14. 在来線で電力と信号通信の総合技術者を育成しない根拠を明らかにすること。
15. これまでの通信系統グループの成果と課題を明らかにし、工事設計グループと保全グループへの再編で効率的な業務となる根拠を明らかにすること。
16. 各技術センターで体制や業務内容がどのように変わるのか具体的に明らかにすること。
17. スマートメンテナンス導入等によるメンテナンス業務のスリム化について以下の項目についてどのように変わるのか明らかにすること。
  - ① 従来の検査（外観検査等）や取替周期の最適化
  - ② 転てつ機モニタリング
  - ③ ポンドモニタリング
  - ④ 無線基地局遠隔測定
  - ⑤ 電力量検針業務の自動化

**組合員の声をもとに、解明交渉・基本交渉を精力的に臨みます！**